

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年 3月 2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2773000688		
法人名	株式会社ライフサポートジャパン		
事業所名	ゆうとぴ庵大阪・淡路		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪市東淀川区東淡路5-8-38		
自己評価作成日	平成23年3月2日	評価結果市町村受理日	平成23年5月20日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp/
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8号-102
訪問調査日	平成23年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自治会主催で1回／月に開催しております「ふれあい喫茶」の参加(現在は自治会の都合により休止中)や、近隣の方によるハーモニカ演奏のボランティア受入、またAED設置や小学校PTAが主催で行っております「こども110番」への登録等…今後も地域の皆様に少しでもご理解して頂け、また愛されるグループホームになる様に色々な事に取り組んで行きたいと考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

駅や商店に近い、生活に便利な住宅地に位置している。自治会の協力が大きく、地域行事への参加、ボランティアの受け入れ、AED設置やこども110番登録など、地域との交流と連携を通して地域の一員として定着している。「よりよい介護」「感動ある介護」という理念が浸透し、サービスの質の向上を目指して、新しい企画や委員会活動に取り組んでいる。高齢化・重度化が進んでも、外出の機会を大切に考え、フードプロセッサー持参で外食に行ったり、ホーム内で家族参加のイベントを企画するなど、利用者のQOLの維持・向上に努めている。また、毎月モニタリングと評価を行い、介護計画を必要に応じて見直すことにより、現状に即した介護計画に基づいた支援を実施している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>定期的を開催しておりますフロア会議等で理念の共有と実践に向けて取り組んでおります。</p>	<p>「より良い介護」「感動ある介護」を開設当初からの理念として掲げている。さらに、理念をケアの現場で実践するための具体的な取り組みを8項目にまとめ理解を深めている。入職時研修で理念について研修を行い、新入職者も理念を理解した上でケアの実践が行えるように取り組んでいる。現任職員も、定期的で開催するフロア会議で理念に立ち戻って話し合うことで、共有すると共に浸透を図っている。理念を実践するために、今年は家族と共にオードブル形式での食事会を楽しむなど、常に新しい企画を持ち寄りサービスの向上に繋げる努力をしている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会長を通じての交流や近隣ボランティアの受け入れ等、積極的に交流を行っております。</p>	<p>自治会に継続して所属し、自治会長を通して近隣のボランティアの受け入れや住民との交流を継続している。近隣の小学校の行事や校庭開放の機会に利用者の身体状況や希望に合わせて出向いて交流を持っている。地域の公民館でのコンサートや市民ホールでの催し物にも積極的に出かけている。ボランティアも月に2回程度来訪され交流を継続しており、ボランティアの方から他のボランティアの方の紹介もあり広がりができている。「こども110番」にも登録しており、近隣の子どもの突然の来訪や緊急事態への対応で地域貢献している。AEDの設置も行っており、24時間職員が在住していることから近隣の緊急事態にも対応できるように事業所の機能を地域へ還元するように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	『子供110番』の登録やAED設置の案内を玄関に近隣の方のご利用を促進しております。		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2ヶ月に1度は必ず開催しており、多数のご意見等を頂戴し活用させて頂いております。	偶数月に、年に6回開催している。家族代表者・地域代表者・地域包括支援センター職員の参加のもと実施し、利用者にも会議の議題の内容や体調によって参加してもらっている。会議では、活動報告・行事報告・評価受審について、高齢者虐待やインフルエンザ対策など季節的な内容についても話し合い、参加メンバーから意見や助言を多くもらい運営に反映している。近隣の道路工事での危険回避について助言や意見をもらい利用者の安全の確保に役立っているなど、運営推進会議での話し合いを有効に活用している。	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	運営上で困った事等がある時には常に相談させて頂いて。	運営推進会議への地域包括支援センター職員の参加で、区役所や市役所へ事業所の状況の報告がされている。運営上での課題や困難事例などは、できる限り市役所の担当課に向いて相談を行い、助言や指導を受けている。スプリンクラー設置に関しても相談を行い、助成を受け設置に向けて課題解決に取り組んでいる。日常的な相談は、地域包括支援センターにも積極的に相談を行い、協働で課題解決に取り組んでいる。地域のグループホームの連絡会の発足にもホームとして積極的に関わり、連絡会開催に向け取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>社内外研修等にて職員への周知徹底を図っております。</p>	<p>「ゆうとぴ庵身体拘束禁止規定」を作成し、「高齢者虐待」「身体拘束」「個人情報の取り扱い」の研修の中で規定を活かして研修を行い職員への方針の理解を図ると共に、全職員で統一した方針でケアを行うように配慮している。年間計画の中で計画的にフロアごとに研修を行い、全職員が参加できるように配慮し、全職員で統一した理解を基にケアに取り組んでいる。利用者の安全性を考え拘束の必要性のある事例で代替方法を十分検討し、見守りを強化するなどして身体拘束を行わないように取り組んでいる。玄関は、内側から立地的・構造上施錠しているが、いつでも簡単に鍵を開けて出ることができる状態にある。外出の希望や行動があればいつでも外出できるように支援しており、外出の機会を増やすことで利用者が閉塞感を感じないように配慮している。</p>	
7		<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>上記同様に職員への周知徹底を図っております。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>各会議を通じて学ぶ機会を設けております。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>その都度時間を掛け、誤解のない様に対応しております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様の来庵時や運営推進会議、また家族会の場等で積極的に意見を取り入れる様にしております。	利用者の意見や要望は、日々のかかわりの中から汲み取れるように、職員の観察力・気づきの力を大切にしている。家族の意見・要望は、面会時に聴取することが多く、面会時には職員が言葉かけを行い、家族から意見や要望を言いやすい雰囲気作りに配慮している。年1回家族会を開催し質疑・応答の時間を設けて、意見や要望を聴取するようにしている。出された意見や要望は、相談苦情受付票に記載し迅速に対応し、内容に応じて法人本体にも報告・検討を行い結果を家族に報告するようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	各会議にて意見・提案を聞く場を設け、常に改善に向けての取り組みをしている。	フロアーミーティングや各種委員会、マネージャーミーティングを開催し全職員がいずれかの会議・ミーティングに参加しており、職員が意見を述べる機会を持つようにしている。職員から管理者に個別に意見を言いやすいように、普段から声かけを行い話しやすい雰囲気作りに配慮している。介護方法についての提案や制服の着用について検討など、意見・提案が活発に出され、サービスや運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員のスキルアップや資格取得に伴う手当等の設定にて就業環境の改善に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画に基づき全職員対象に内部研修を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近々立ち上がります 区内グループホーム連絡会を通じて更に取組を強化したいと考えております。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談時から本人様との面談等を通じた情報収集により関係づくりに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	上記同様に対応しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	様々な専門機関との連携を図る事により対応出来る様に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の思いに近づき共感し合える関係づくりをこれからも築いて行きたいと考えております。		
19		○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様の来庵時には入居者様の状況等をお伝えする事により情報の共有を図る様に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
20	8	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族様との連携により段階的にホームの生活に馴染める取組等を行っております。</p>	<p>知人・友人の訪問も少なくなってきたが、訪問がある場合には、居室やテラスでゆっくりと話ができるように配慮している。利用開始前に住んでいた家に行きたい希望があれば、車などで出かけることができるように支援している。利用開始時に聴取した内容をフェースシートの生活歴に記入し馴染みの人や場所を把握し、日々関わって得られた馴染みの人や場は経過シートに記載し情報を共有し、関係継続の支援を行うようにしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員の関わりによりその人らしく生活して頂ける様に努めております。</p>	/	/
22		<p>○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>当庵を退居されてからでも各種相談や出来る限りの支援は行っております。</p>	/	/
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時のアセスメントや入居後の観察等によりホーム内の生活で反映出来る様、取組を行っております。</p>	<p>入居時に利用者と家族にアセスメントした内容をフェースシートに記載し、思いや意向も記入している。入居後の思いや意向については日々関わる中で把握した内容を連絡ノートに記載し、その内容から発症経過シートに毎月の利用者の状況をまとめて記載し把握するようにしている。思いや意向を表明しにくい利用者については、表情や反応から判断し、職員間で共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	家族様や親戚の方等より情報を頂いたり各サマリー等を活用して把握しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体調変化や水分摂取等の記録により現状の把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様の希望をプランに反映し、モニタリングでの評価を毎月行っております。	利用者・家族から聴取した内容・希望などをフェースシートに記載し、アセスメントを行い、利用開始後2週間程度で初期計画を作成し、家族に説明を行い同意を得ている。毎月、モニタリングと評価を行ない、介護計画が現状に即しているかを確認している。必要時には随時、安定している利用者についてはおおむね3カ月に1回の見直しを行っている。見直し時には、利用者には日々の話の中から要望を聴取し、フロアーミーティングで話し合いを行い職員の意見を反映させている。また、見直した計画を案として家族に説明する中で家族の要望を聴取し、計画を完成させて同意を得るようにしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各記録、各会議の活用により行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関への通院や介護用品の一時使用等の取組を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会主催のふれあい喫茶参加や図書館の利用、またボランティア受入等に取組んでおります。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診及び通院時の対応等、本人及びご家族様の希望に沿った支援を行っております。	契約時、利用者・家族の希望されるかかりつけ医を聞き、受診支援している。内科・心療内科・歯科は往診、眼科・皮膚科も必要に応じて通院している。通院には基本的には職員が同行し、受診時に診療情報提供書を使い、情報交換している。場合によっては、家族も同行し、一緒に話を聞くこともある。入院時は、面会に行き、提携医療機関での入院時等は洗濯などの支援も行い、早期退院に向けてかかりつけ医とも相談し支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	訪問看護師との連携により適切な支援を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時は病院の医療連携室等との情報交換により早期退院に向け対応しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居前と契約時には家族様に当庵の方針を説明し同意を頂いております。	「重度化・看取りに関する指針」を作成し、入居前と契約時に説明し、家族の同意を得ている。状態に変化が生じた場合、その都度家族に報告し、主治医、家族、関係者などを交えて話し合いを重ね、方針を統一し支援する体制ができている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルや定期的な研修により対応しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練実施や地域の協力体制の確保等に取り組んでおります。	年に2回、昼夜想定、利用者参加で、避難訓練を実施している。隣接するタクシー会社の協力があり、地域の方にも参加を依頼し実施している。自治会にも声をかけ、自治会の避難訓練があれば参加したい意向。消火器や通報システムの操作など、訓練以外にも確認の機会を持っている。水・食品の備蓄を行っている。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の管理の徹底や職員の雇用契約時に誓約書を交わしております。	プライバシー保護のマニュアルを設置し、研修を行ない、職員が共通認識を持って業務にあたるように取り組んでいる。入浴・排泄については基本同性介助で行い、羞恥心への配慮を周知している。職員の気になる言葉かけなどについては、注意しあえる職場環境を大切にしている。利用者の状況に応じて苗字以外で呼ぶ場合も本人と家族の了承を得るなど、利用者の尊厳と意向の確認を重視している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の意向に沿い出来る限り自己決定して頂ける環境作りを行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	上記同様に取り組んでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望に沿って理髪店に行ったり化粧品類等を購入しに行く等の取組みを行っております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皆様の希望や好みを出来る限りメニューに反映する等して取り組んでおります。	毎食、調理と配膳をフロアで行ない、利用者の状態と希望に応じて参加してもらっている。食事委員会を設置し、献立や調理法を検討したり、食事レクやおやつレクを企画したりしている。最低月1～2回は利用者の希望を聞いて献立を立て、買い物から一緒に行う機会を持っている。フロア単位で外食に出かけ、フードプロセッサーなど調理用品を持って行くなど、状态的に外食が難しい利用者も参加できるように配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	カロリーや栄養バランスに配慮した献立を提供し、個々に応じた形での提供を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後のうがい・歯磨きを行い、週1回の歯科往診等を行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	定時の声掛けやトイレ誘導の取組み等を行っております。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、声かけを行い排泄の自立を促している。介護計画にも挙げ、できる限りトイレでの排泄を目指している。便秘にならないように食べ物・運動で調整し、できるだけ薬に頼らないように心がけている。基本的には同性介助で対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量や排便管理を行い、乳性飲料を飲んで頂いたり運動を行う等で対応しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ひとり一人の希望に応じ対応しております。	基本的には毎日入浴は可能であるが、回数・時間帯は希望に応じている。基本的には同性介助で対応し、必要に応じて2人介助で安全性を確保している。入浴拒否の方にはタイミングをはかって声かけを工夫したり、気の合う人に誘ってもらうなど、工夫して対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝の時間を設ける等個々の状態に合わせた対応を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬の副作用や飲み方等は毎日、毎回注意して対応しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとり一人の趣味趣向に合わせて、毎日を楽しく過ごせる取組を行っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	図書館の利用やドライブ、また定期的に自宅へ戻られたり等、外出支援に取り組んでおります。	日常的に、散歩・買い物・外食・ドライブなど、外出支援に積極的に取り組んでいる。また、玄関前のスペースでティータイムを楽しんだり、ゴミ捨てや花の水遣りなど日常生活の作業も利用して、外気に触れ気分転換できる機会を数多く持てるように配慮している。買い物・図書館・自宅への外出など、個別の外出支援も行なっている。フロア単位での季節の外出も企画し、五感刺激に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望時等は一緒に買い物に行く等して対応しております。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族様からの電話を取り次いだり、入居者様から希望があれば支援しております。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>一人ひとりぶ対しゆとりのある雰囲気づくりに取り組んでおります。</p>	<p>採光がよく、ゆったりとしたスペースが確保され、車椅子での動線にも配慮してテーブルやソファが配置されている。テラスやソファなど、各階に一人でも少人数でも過ごせる場所が確保されている。利用者と職員と一緒に作成した飾りなど、季節感を大切に配慮がある。フロア以外に共用空間として会議室もあり、イベントや個人の用途にも使われている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>談話室でのテーブル位置やテラスを自由に使用して頂く等工夫しております。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みある持ち物の持ち込み等の支援を行っております。</p>	<p>ベッド・机・クローゼットの他は、使い慣れた馴染みの家具や道具が持ち込まれ、環境の変化によるダメージの軽減に努めている。部屋の掃除はできる範囲で利用者が行ない、できない部分は職員が支援している。写真や思い出の品などが飾られ、その人らしい落ち着ける居室作りに心がけている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>危機管理委員会を中心に安全な環境づくりに取り組んでおります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
V アウトカム項目					
56		職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況		実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
64		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○		①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない	
65		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○		①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない	
66		職員は生き活きと働けている	○		①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
67		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○		①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
68		職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○		①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない	